

消化器疾患治療マニュアル 正誤表（改訂第2版第1刷、p.44）

この度、本書掲載内容に誤りがございましたので、下記のように訂正させていただきます。
ご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

2013年7月8日

表1 主なC型肝炎の抗ウイルス療法の適応

1) テラプレビル/Peg-IFN/リバビリン併用療法(テラピック [®] /ヘグイントロン [®] /レベトール [®])		
適応:	慢性肝炎:	初回治療(1型高ウイルス量), 再治療(1型全て)
	肝硬変:	なし
2) Peg-IFN/リバビリン併用療法(ヘガシス [®] /コヘガス [®] , ヘグイントロン [®] /レベトール [®])		
適応:	慢性肝炎:	初回治療(1型高ウイルス量, 2型高ウイルス量*) 再治療(1型全て, 2型全て) (*ヘグイントロン [®] /レベトール [®] のみ投与可能)
	肝硬変(代償性):	全て
3) IFN β /リバビリン併用療法(フェロン [®] /レベトール [®])		
適応:	慢性肝炎:	初回治療(1型高ウイルス量, 2型高ウイルス量) 再治療(全て)
	肝硬変:	<u>なし</u>
4) IFN単独療法(ヘガシス [®] , スミフェロン [®] , <u>フェロン[®]</u>)		
適応:	慢性肝炎:	<u>全て</u>
	肝硬変(代償性):	<u>1型低ウイルス量, 2型全て</u> (肝硬変は, フェロン [®] , スミフェロン [®] のみ投与可能)

◇下線部を訂正